



# Go Playing Fellowship of Rotarians

## ロータリー囲碁同好会

### NEWS LETTER

No. 19

2011年12月10日 発行

HP <http://www.gpfr.jp>

初出場の石橋五段が「囲碁名人」に

中級は衣川三段、初級は櫻井二段

第10回ロータリー全国囲碁大会



中央左に新藤信之・同好会日本支部長、右に塚本利光・大会審判長を囲んで、カップを手にする各クラスの優勝者と、記念盾の入賞者、参加者と共に。新藤支部長の左は新「ロータリー囲碁名人」の石橋正好五段。前列右端は最高齢 88 歳で中級準優勝の高橋孝太郎四段（東京・市ヶ谷の日本棋院で）

## ＜ 第10回全国囲碁大会結果 ＞

2011・10・22

### 上級者クラス(五段以上)

優勝 石橋 正好五段(高岡)  
 準優勝 上原 忠六段(東京東)  
 3位 成島 眞五段(東京立川こぶし)  
 4位 大塚 和彦六段(大垣)

### 中級者クラス(三段～四段)

優勝 衣川 文明三段(川西猪名川)  
 準優勝 高橋孝太郎四段(厚木中)  
 3位 村田 英憲四段(東京世田谷)  
 4位 岡本 久永四段(豊橋ゴールデン)

### 初級者クラス(二段まで)

優勝 櫻井 基雄二段(宇都宮東)  
 準優勝 横塚 克明二段(東京世田谷)  
 3位 川村 壽文初段(宇都宮東)  
 4位 瀧澤 恒夫 2 級(結城)

### クラブ対抗戦

優勝 東京世田谷RC  
 準優勝 宇都宮東RC  
 3位 豊橋ゴールデンRC

## 被災地からの飛び込み参加者？

ロータリー囲碁同好会（GPFR）主催の「第10回ロータリー全国囲碁大会」は東京・市ヶ谷の日本棋院1階の対局室で全国から45人のロータリアンが集まり、秋の冷気をはね返す様に夕刻まで碁盤をにらんでの激しい戦いが繰り広げられました。

今回は開催10回目という記念すべき大会ですが、3・11東日本大震災により、GPFR日本支部長の新藤信之 PDG(東京立川こぶし)を交えた大会役員会で華やかな儀式めいたことを省いて簡素に行うことにして、これまでの大会と同様に日本支部の主催らしい進行をしようと決めました。

このため、GPFR新会長となった石井良昌 PDG（尼崎西）とホストクラブである東京RCの弦間明会長のお二人のご参加を見合わせて、代わりに来年3月3日(土)と4日(日)の両日に神戸市で予定されている「第13回ロータリー国際囲碁大会」の大会実行委員長、永田博巳三段（加古川平成）が参加されますので、石井会長の挨拶を代読して頂くことに致しました。

一方、前回の「ニュースレター18号」の誌上で、同好会会員で毎回全国大会に参加されている南相馬市の原町中央RC、松永邦彦六段が大地震と原発の放射能汚染により困難の状況下にありながらクラブ幹事としてクラブ再建に乗り出したことを紹介して、同クラブに対し義援金のご協力を皆様にも求めました。予想以上に11名の方から計13万9000円が集まり、これを8月上旬に同クラブ口座に送金しました。

すると、松永さんから「全国大会の席上で、お集まりの皆様には是非にお礼を述べたい」と

の参加申し込みが早々届いたのです。

実は、7月下旬に義援金の受付は終了したのですが、その後も大会が近付いて来るうちにだんだんと寄付の申し込みが増え、さらに送金を予定していたところでした。そこで開会式で新たな義援金を新藤支部長から目録としてお渡しすることとなりました。

ところが、大会前日の昼になって私の携帯電話に松永さんから連絡がはいったのです。「太田さん、申し訳ない。大会に出られなくなりました」。

聞くと、腰を強打されて歩行困難だといえます。同時に、大会運営を毎回お手伝いしてくださっている大阪金剛 RC 次期会長の平井収三段がクラブ重鎮の会員が急死されて立場上、欠席されるという報も入って、慌てて大会プログラムと役員用の大会進行表を大幅に手直しすることになりました。

開場1時間前の事です。新藤支部長をはじめとする大会役員と大会運営について打ち合わせをしている時でした。ワイシャツを汗で濡らした巨漢の松永さんが、満面に笑顔でのそりと現れたのです。

## 大活躍の塚本大会審判長

開会式は予定に沿って午前10時に、新藤支部長が大会実行委員長として開会宣言して記念の点鐘。石井 GPFR 会長の挨拶を代読した永田さんは、3月の神戸国際囲碁大会で韓国と台湾のロータリアンによる対抗戦にぜひ参加を、と呼びかけました。

新藤実行委員長は歓迎挨拶の中で、原町中央 RC に対する義援金の集計結果と、これを同クラブ口座に送金したことを報告。さらに8月以降も GPFR 会員から義援金が寄せられ、この会場でこれを目録として松永さんに贈呈することを披露して、この会場で閉会まで寄付の申込を受け付けていますと、大会参加者の皆さんに協力をお願いしました。

腰になお痛みのある松永さんは深々と頭を下げられ、「皆様の温かい励ましに勇気付けられました。このお金をクラブ再建に生かします」と、お礼を述べられました。

今回は大会審判長を、今春の台湾国際囲碁大会に参加された塚本利光六段(東京京浜)にお願いしました。塚本審判長は大会ルールについて、3クラスとも持ち時間25分の計時制であり、ハンデ戦の4回戦により勝敗を決定すること。順位は同率の場合は上位者に、次に高齢順によるものと発表して、何かトラブルがあれば審判長の裁断で決することを説明しました。

午前10時30分、新藤実行委員長の「対局、はじめ」との号令によって、第1戦がスタート。一斉に時計のボタンを押す音が会場に鳴り響きました。

初戦の対局がそろそろ終わって、席を立つ人が目立って来た頃です。初級者クラスの対戦者が手を挙げたのです。塚本審判長は対局を終えたばかりで、一番席の遠い初級者席に急行しました。すると、その背中で上級者席から「シンパンチョーオ」と声が掛かったのです。

事件です。これまで国際囲碁大会ではしばしば見る光景でしたが、国内大会ではおそらく初めての事だろうと思います。

どちらも時計をめぐるトラブルでした。塚本審判長はそれぞれ対局両者の意見を聞いて、その場で裁定。そこはロータリアンの集まりです。不満があったらと思いますが、負け

と宣告を受けた方は最後まで親睦を貫かれました。

全クラスでの計時制は参加者の意向を聞いて、前回大会で試験的に行ったのが初めてで、今回から正式に導入となったのです。2戦以降はスムーズに進行しました。

また、塚本審判長は対戦の組み合わせでも気配りをみせました。同一クラブ、同じ地区内との対戦をなるべく避けたのです。全国大会ですので、ロータリアンとして新たな1ページを書き加えるような、思い出に残る大会としたかったのでしょうか。

## 昼食休みは大震災報告勉強会に

今回の昼食休憩では、東日本大震災の被災地で中心的な支援活動をしている仙台RC元会長の大島達治五段が、ロータリーによる東北復興プロジェクトについて資料を配布して説明してくださいました。大変な力が必要な活動になることを一同、理解を深めました。

松永さんにも再度、登場していただき、原発の放射能汚染による避難状況や今後の見通しとロータリーへの支援の在り方などをお話ししていただきました。

また、八戸RCの佐々木克郎六段にも青森からの3人の参加者を代表して、津波で会社が流された状況などを紹介していただき、40分間の食事をしながらの報告会ではもったいない内容となりました。

## 名人位防衛目前だった上原六段

午後の対局は2局で終了し、最終局は1時間の持ち時間に延長して行われました。

上級者クラスの「ロータリー囲碁名人」決定戦では、前回優勝の上原六段と初出場の石橋五段との対戦となり、大会初の連続優勝をかけた上原六段の快挙を目前に、50歳の石橋五段はこれを断ち切ったのです。

優勝杯を手にする石橋五段を評して、春の台湾国際囲碁大会で活躍された金澤拓平六段（東京青山）は「若いのに布石がしっかりしている」と話していました。

中級者クラスは、衣川（きぬがわ）三段の一人舞台でした。準優勝は3年前の神戸国際囲碁大会で優勝したことのある88歳の高橋四段に、3位は82歳の村田三段という気骨あふれた方の手に表彰盾が渡されました。村田三段の気骨はクラブ対抗戦優勝をもたらしました。4位は入賞の常連である岡本四段の活躍で団体3位を勝ち取りました。

初級者クラスは混戦となりました。というのは、3勝無敗で最終局に臨んだ櫻井二段が星を落として1敗が4人となってしまったのです。櫻井二段は今年の全国大会で初参加し初段で優勝しての連続優勝となりました。初級者クラスではこれまで連続優勝者が出ていますが、初段の次に二段での連続優勝はお見事でした。来年は三段で栄冠を目指して新記録への挑戦を期待いたします。準優勝の横塚二段は緒戦を落としたものの、その後に粘りをみせて、東京世田谷RCのクラブ対抗戦初優勝にも貢献されました。

なお、この4人の順位は高段者と年齢による大会ルールに従って、決まりました。最終局で櫻井2段を破った瀧澤2級は、惜しい結果となりなした。

表彰式を終えて参加者から「次回から持ち時間25分は短い。もう少し延長してはどうか」

との意見がありました。検討してみます。ご意見、ご要望にお応えいたしますので、幹事までご連絡ください。3月の神戸大会での再会を楽しみにしております。

大会幹事 太田清文(東京RC)

## 義援金の報告①

### クラブ活動の一助に

大地震に加え、原発の放射能汚染による不安の中で、月2回の例会開催に奮闘されている原町中央ロータリークラブの皆様には敬意を表します。RI認証の親睦団体であるロータリー囲碁同好会(GPFR)の日本支部は、毎秋行う全国大会に参加される貴クラブの松永邦彦さんより被災の報告を受け、囲碁仲間のロータリアンから松永さんへのお見舞金を集めました。13万9000円と少額ですが、クラブ活動の一助に役立ててほしいと願い、貴クラブの口座に送金することに致しました。困難は今後も増すばかりだと思いますが、なでしこジャパンを上回る根性で、松永幹事さんをはじめ皆様方の一層のご活躍をお祈りいたします。

2011年8月8日

GPFR 日本支部長 2750 地区 PDG 新藤 信之

## 義援金の報告②

### 原町中央ロータリークラブ殿

東日本大震災による被災と原発事故によって、さまざまな苦難を受けながら、ともに手をつなぎ支えあいながらロータリー活動に励む貴ロータリークラブに、私達ロータリー囲碁同好会の仲間である松永邦彦さんがクラブ幹事として活躍されていることを大いに誇りに思います。

復興に向けてこれからも続くであろう困難な道のりを一層のご努力によって打開されることを願っております。

8月上旬の義援金に続き、さらに10月22日の「第10回ロータリー全国囲碁大会」までに、同好会会員より集まりました義援金(金95000円)を貴クラブ口座に送金することと致しました。前回と同様に、クラブ活動の一助にしてください。

貴クラブと松永幹事の奮闘を祈ります。

2011年10月22日

ロータリー囲碁同好会日本支部長 新藤 信之

## 義援金にご協力を頂いた方々(敬称略・受領順)

新藤信之、平井収、梅田英樹、杉原敏雄、岡本久永、柴田光廣、宮本一、中村勝義、大塚和彦、太田清文、二上達也(前日本支部長)、岡田直子、滝澤恒夫、石井良昌、成島眞、横塚克明、塚本利光、中澤忠義、寺前英夫、嶋田繁、永田博巳、石橋正好。

以上22名 合計23万4000円

## 原町中央 RC からのお礼状

ロータリー囲碁同好会

日本支部長 新藤 信之 様

幹事 太田 清文 様

拝啓

秋冷の候、先日東京で開催された「第 10 回ロータリー全国囲碁大会」に出席し新藤支部長はじめとする囲碁同好会諸兄にお会いできましたことは、本当にロータリアンの素晴らしさを感じました。

3.11 東日本大震災後直ちに太田幹事の御指導により当南相馬市の被害状況を報告いたしましたところ、ロータリー囲碁同好会御諸兄の心暖まる御支援金を頂戴したことを感謝いたします。

更に今回の囲碁大会開会式冒頭において、新藤支部長より当クラブへの追加支援金の目録贈呈があり、これに対する謝辞の機会を賜りましたこと改めて御礼申し上げます。

当クラブへの支援金はクラブ活動費として大事に活用する所存でございます。原発事故による当地域の放射能との戦いは長い時間を要するものと覚悟しております。御諸兄の暖かい励ましを心の糧かつ支えとして頑張ってお参りますこととお誓いして心からの感謝といたします。

本当にありがとうございました。囲碁同好会御諸兄のご健康を祈念しております。 敬具

2011 年 10 月吉日

原町中央ロータリークラブ

会長 渋佐 克之

幹事 松永 邦彦

---

## 次回全国囲碁大会は来年 10 月に

<記>

日時 2012 年 10 月 20 日（土）10 時開会 16 時まで  
登録受付 午前 9 時 30 分より  
会場 東京・市谷の日本棋院会館 1 階  
登録料 7000 円(賞品、昼食代等を含みます)

大会参加はメイクアップ（国際奉仕）になります

来年のスケジュールに入れておいてください



新藤支部長より2回目の義援金の目録贈呈を受けて、感謝とともに復興に向けての決意を述べる松永邦彦・原町中央 RC 幹事



□何と初出場で名人位に。しかも50歳。上級者の常連組はいずれも完敗でした。お見事でした。石橋五段に拍手です。



中央の女性は受付をお手伝いして下さった東京築地 RC の岡田直子6級。女性初の2勝をあげました。手前での対局は初級優勝者の櫻井二段(左)と準優勝の横塚二段



ホストクラブの東京 RC の点鐘とギャベル。バナーは江戸小紋の総裏です。優勝杯も東京 RC から寄贈を受けてもう10年です。



中澤忠義六段(右端)と柴田光廣四段を激励に訪れた孔令文六段。日中囲碁界の架け橋として活躍中です。左端は塚本大会審判長

東北全体の被災状況をまとめた資料を会場に配り復興計画について報告する大島達治・仙台 RC 元会長



## 3月3日～4日に神戸国際囲碁大会

「第13回ロータリー国際囲碁大会」は2012年3月3日(土)と4日(日)の両日に神戸市のポートアイランドにある神戸ポートピアホテルで開催します。

韓国と台湾との対抗戦で、3クラスの早碁戦(計時制)となりますが、詳細については1月下旬に決定の運びであり、参加申し込みを受け次第、大会要領を送信してご案内致します。大会ルール等は当日に変更があることもご承知ください。

参加のお申込みは、同封の「参加申込書」を利用されるか、または所属クラブを通じて「神戸国際大会参加希望」と明記してFAXで送信してください。連絡はすべて下記のGPFR日本支部のFAXにお願いします。連絡先のFAX番号と携帯電話は必ず記載をお願い致します。登録料は14000円。宿泊予約は各自でしてください。大会参加はメイクアップ(国際奉仕)となります。

なお、2680地区の会員は直接、所属クラブを通して第2680地区ガバナー事務所に登録をしてください。大会は第2680地区の地区大会公式行事として行われますので、プログラム作成上、2月20日(火)に締め切ります。

### 会費納入のお願い

ロータリアンの囲碁仲間をGPFRにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位、紹介者を明記して所属のクラブ事務局を通じてFAXで下記のGPFR日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。GPFR活動、会則についてはGPFRのホームページ<http://www.gpfr.jp>をご覧ください。

年会費を未納の方々は、同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、2011-12年度会費分として6月末までに2000円をご送金ください。

2012年3月3日(土)～4日(日)の神戸国際囲碁大会にご参加ご希望の方は、同封の郵便振替用紙の通信覧に「神戸国際大会参加」と明記して大会登録料14000円を別に送金してください。申し込みの締め切りは2月20日(火)。参加申し込みを受け取り次第、すぐに大会参加要領をFAXでお知らせ致しますので、クラブ名と氏名、級段位のほかにご自宅等のご連絡先のFAX番号等を必ずお書き添えください。なお、振込み手数料(100円)はご負担ください。

GPFRは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F  
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会  
専用 FAX 03-3452-1652  
日本支部長 PDG 新藤信之